



「地域の特性や資源を活かしつつ 市場・企業動向を捉えた技術開発を」

商工労働水産部長 白橋 大信

4月1日付けで商工労働水産部長に就任しました白橋です。

県内企業及び関係団体の皆様には、本県産業の振興に関しまして、かねてから多大な御支援、御協力をいただき深く感謝申し上げます。

本年4月、商工部門と水産部門の連携により、水産加工業の育成強化や、「かごしまのさかな」をはじめとする本県産水産物の販路拡大の取組を一層推進するため、商工労働部と林務水産部の水産部門の統合により、商工労働水産部が発足いたしました。また、大島紬技術指導センターにつきましては、工業技術センターと統合し、工業技術センター大島紬部として再編いたしました。皆様におかれましては、県商工労働水産部及び工業技術センターの施策等に、引き続き御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、我が国の経済は、輸出が緩やかに増加し、企業収益が改善するなど着実に持ち直してきておりますが、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にあります。県内経済についても、生産は持ち直してきているものの、雇用情勢は厳しい状況にあるほか、個人消費も弱い動きとなっているなど、低迷しております。こうした中、本県におきましては、平成21年度3月補正予算、平成22年度当初予算に必要な事業を計上し、県内の景気動向にも配慮しつつ、経済・雇用対策に積極的に取り組んでいるところであります。

具体的には、中小企業者の経営力の向上等を図るため、ものづくり企業の経営者の皆様等を対象に、今後の事業展開に必要な経営戦略についての講演会や県内における成功事例を紹介する「『かごしまものづくり企業経営者塾』開催事業」や、県内中小企業の新製品・新技術等の研究開発を促進するため、大学等のシーズと企業ニーズのマッチング等を推進する「産学官連携サポーター設置

事業」、中小企業者と農林漁業者が相互に連携し、本県の良質で豊富な農林水産物を活用した新たな商品やサービスを開発する「農工商等連携推進事業」などに、今年度新たに取り組むとともに、自動車、電子、食品関連産業の振興を図るため、企業の行う研究開発、人材育成、販路拡大等の取組を総合的に支援する「ものづくり重点業種支援事業」などを引き続き実施してまいります。

工業技術センターにおきましても、主要な研究事業として、地域資源の高度利用、生産・加工システム開発など5分野から、「長寿命圧造工具の開発」など8テーマ、大島紬分野から「新カテゴリー商品開発に伴う染色加工技術」など4テーマを実施するほか、県内中小企業に対する一歩先の技術の提供をめざす技術創出（シーズ創出）研究として「食品加工副産物の発酵特性」など8テーマ、中小企業のニーズ等に迅速かつ的確にこたえる技術高度化（ニーズ対応）研究として「静電気放電発生箇所検出システムの実用化」など5テーマを実施してまいります。また、「九州各県工業系公設試の連携に関するビジョン」に基づく共同研究等のほか、公募提案型受託研究や地域企業等との共同研究等に取り組むこととしております。

工業技術センターは、皆様の「技術的拠りどころ」として、多様化するニーズや市場動向等の的確な把握に努め、地域の特性・資源を生かしながら、技術的課題等に即応できる研究開発に取り組むとともに、新製品開発や技術的課題解決の支援、県内の技術者、研究者の養成に努めるなど、各種団体等との連携を図りながら、本県産業の振興・発展に貢献してまいりたいと考えております。皆様におかれましても、工業技術センターを積極的に活用していただき、新事業や新産業の創出に結びつく研究開発に取り組み、本県地域経済の活性化につなげていただきたいと考えております。